

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2009-98295

(P2009-98295A)

(43) 公開日 平成21年5月7日(2009.5.7)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
G 0 9 F 13/18 (2006.01)	G 0 9 F 13/18	5 C 0 9 6
G 0 9 F 13/20 (2006.01)	G 0 9 F 13/18	G
	G 0 9 F 13/20	D

審査請求 有 請求項の数 4 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号	特願2007-268230 (P2007-268230)	(71) 出願人	501089623
(22) 出願日	平成19年10月15日 (2007.10.15)		株式会社デビカ
			愛知県名古屋市守山区小六町5-22
		(71) 出願人	507340887
			ワイケーイー株式会社
			大阪府東大阪市菱江3丁目5番28号
		(74) 代理人	100078949
			弁理士 浅野 勝美
		(72) 発明者	林 隆三
			愛知県名古屋市守山区小六町5番22号
			株式会社デビカ内
		(72) 発明者	吉川 正泰
			大阪府東大阪市菱江3丁目5番28号
			ワイケーイー株式会社内

最終頁に続く

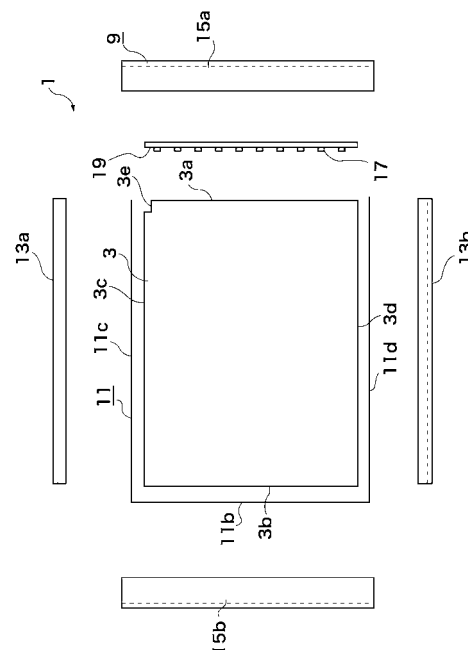
(54) 【発明の名称】 ポップボード

(57) 【要約】

【課題】簡単な装置により、文字等の表記内容が発光して浮き上がって見えるようにし、これにより訴求力を向上せしめること

【解決手段】繰返し書き消し可能に表面加工された透明板からなる表面ポップ部3と、表面ポップ部に対向して設けられる面板からなる背面部5と、表面ポップ部と背面部との間に挿入される背景図画7と、表面ポップ部の一側端部に設けられる光源部9と、表面ポップ部に設けられる反射テープ11からなる。反射テープ11は、表面ポップ部の光源部9を除く外周縁11b~11dに設ける。光源部から照射された光が表面ポップ部内に入射すると、表面ポップ部の4辺の端部に当たって乱反射する。乱反射した光は表面ポップ部内の各面に当たり、表面ポップ部から出るとき表面ポップ部に書かれた文字や図柄の蛍光成分と反応しこれらの表記内容を裏側から浮き上がらせ、まるで文字等が発光しているかの如き効果（擬似発光効果）を奏する。

【選択図】 図2



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

繰返し書き消し可能に表面加工された透明板からなるポップボードにおいて、上記透明板からなり、表面に蛍光マーカにて文字、図柄等が表記される表面ポップ部と、該表面ポップ部に対向して設けられる面からなる背面部と、上記表面ポップ部と上記背面部との間に挿入される背景図画と、上記表面ポップ部の一側端部に設けられる着脱自在の光源部と、上記表面ポップ部に設けられる反射テープからなり、上記反射テープは上記表面ポップ部の光源部を除く 3 辺の外周縁に設けられることを特徴とするポップボード。

【請求項 2】

上記表面ポップ部及び上記背景図画を着脱自在のフレームにより挟着することを特徴とする請求項 1 記載のポップボード。 10

【請求項 3】

上記光源部は複数の LED を搭載したプリント基板を内蔵することを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 記載のポップボード。

【請求項 4】

上記反射テープはさらに表面ポップ部の光源部側正面及び背面に一对設けることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか記載のポップボード。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本願発明は店舗のディスプレイ、パーティの会場等、広告宣伝表示に使用されるポップボードに関する。 20

【背景技術】**【0002】**

従来のポップボードは表面が無地あるいは固定された図柄によるものが一般的であり、任意の図柄、写真などを設置することができず、広告宣伝としての訴求力が単調になっていた。

【0003】

そこで無地のポップボードに蛍光マーカで任意の文字や図柄を書き込み、これに前面から光を照射し、書き込まれた文字や図柄等を光らせることにより訴求させるタイプの製品が登場した。 30

【0004】

しかし、かかるタイプのものであっても、光が当たっているからその部分が光って見えるだけであり、文字等が発光して浮き上がって見えるようにならず、訴求力に今一欠けるものであった。

【特許文献 1】 実用新案登録第 3 1 1 4 2 4 7 号**【特許文献 2】** 実開平 5 - 1 7 6 7 5 号**【発明の開示】****【発明が解決しようとする課題】****【0005】**

本願発明は上記欠点を解消し、簡単な装置により訴求力を向上せしめることを目的とする。 40

【0006】

また背景面を交換可能とすることにより、表記内容との組合わせに変化をもたせ訴求力を一層向上せしめることを目的とする。

【課題を解決するための手段】**【0007】**

上記目的達成のため、本願発明によるポップボードは、繰返し書き消し可能に表面加工された透明板からなるポップボードにおいて、上記透明板からなり、表面に蛍光マーカにて文字、図柄等が表記される表面ポップ部と、該表面ポップ部に対向して設けられる面 50

からなる背面部と、上記表面ポップ部と上記背面部との間に挿入される背景図画と、上記表面ポップ部の一側端部に設けられる着脱自在の光源部と、上記表面ポップ部に設けられる反射テープからなり、上記反射テープは上記表面ポップ部の光源部を除く3辺の外周縁に設けられることを特徴とする。

また、請求項1記載のポップボードにおいて、上記表面ポップ部及び上記背景図画を着脱自在のフレームにより挟着することを特徴とする。

また、請求項1又は請求項2記載のポップボードにおいて、上記光源部は複数のLEDを搭載したプリント基板を内蔵することを特徴とする。

また、請求項1乃至請求項3のいずれか記載のポップボードにおいて、上記反射テープはさらに表面ポップ部の光源部側正面及び背面に一对設けることを特徴とする。

10

【発明の効果】

【0008】

光源部から照射された光が表面ポップ部内に入射すると、該光は表面ポップ部の3辺に反射テープがあり、かつ光源部が密閉・被覆されているため4辺の端部に当たって三次元方向に乱反射する。乱反射した光は背面部及び4辺が密閉・被覆されているため表面から出るが、このとき表面ポップ部に蛍光マーカで書かれた文字や図柄の蛍光成分と反応しこれらの表記内容を裏側から浮き上がらせ、まるで該文字等が発光しているかの如き効果（擬似発光効果）を奏する。よって、訴求力が向上する。

【0009】

また、乱反射した光は表面ポップ部から出るとき表面ポップ部の背後にある背景図画を照らし出す。よって文字等の表記内容は背景図画とともに訴求されるので、表記内容を変えなくても、背景となる背景図画を適宜に交換すれば斬新性を維持することができ、訴求力の向上につながる。

20

【発明を実施するための最良の形態】

【0010】

次に、実施の形態を示す図面に基づき本願発明によるポップボードをさらに詳しく説明する。なお、便宜上同一の機能を奏する部分には同一の符号を付してその説明を省略する。

【0011】

ポップボード1は繰返し書き消し可能に表面加工された5mm厚アクリル素材の透明板からなる表面ポップ部3と、該表面ポップ部3に対向して設けられる面板からなる背面部5と、上記表面ポップ部3と上記背面部5との間に挿入される適宜の図柄等（図示省略）が描かれた背景図画7とからなり、上記各部が積層された状態で、4辺を上部フレーム13a、下部フレーム13b、右側フレーム15a及び左側フレーム15bにより取外し自在に挟着する。上記フレームによる挟持は、上部フレーム13a及び下部フレーム13bにより表面ポップ部3及び背景図画7を挟着し、右側フレーム15a及び左側フレーム15bにより表面ポップ部3及び背面部5を挟着するようになっている。よって背景図画7の交換は上部フレーム13a及び/又は下部フレーム13bを取外して行なう。右側フレーム15aは内部に14個のLED17を搭載したプリント基板19が内蔵されて光源部9となっており、上記表面ポップ部3の右端部を密閉・被覆する。表面ポップ部3には訴求したい内容、例えば図1に示すひまわりの図及び「enjoy summer」の文字が表記される。

30

40

【0012】

上記表面ポップ部3には反射テープ11を設ける。該反射テープ11は、上記表面ポップ部3の光源部9を除く3辺の外周縁3b、3c、3dをすべて被覆するように設ける（11b、11c、11d）。上記表面ポップ部3の光源部9側の1辺3aは上記右側フレーム15aにて密閉・被覆され光が洩れないようになっている。上記表面ポップ部3の右上端部には、光源部9内に突設される端子9aに衝突しないよう切欠3eを設けてある。21は電源コードである。

【0013】

50

ＬＥＤ１７が通電されＬＥＤ１７の発光による光が光源部９から照射されると、その光は表面ポップ部３の右側面３ａから表面ポップ部３内に入射される。

【００１４】

入射された光は表面ポップ部３の対向面３ｂに向かうが、反射テープ１１ｂの貼着面が実際には貼着時に微細な凹凸を生じているため、上下の面３ｃ、３ｄ及び元の面３ａ並びに表面や裏面にも向かうことになる。

【００１５】

このように表面ポップ部３内に入射された光は乱反射を繰り返して表面ポップ部３内の各面に当たり、表面ポップ部３から出ることになる。

【００１６】

このとき表面ポップ部３の背面が背面部５により遮光されており、４辺の外周縁が反射テープ及び右側フレーム１５ａにて遮光されているため、表面ポップ部３から出る光は表面ポップ部３に書かれた文字等の蛍光成分と反応しこれらの表記内容を裏側から乱反射により浮き上がらせ、まるで該文字等が発光しているかの如き効果（擬似発光効果）を奏する。よって、蛍光マーカの発色を最大限に引き出すことができ、訴求力が向上する。

【００１７】

また、乱反射した光は表面ポップ部３から出るとき表面ポップ部３の背後にある背景図画７を照らし出す。よって文字等の表記内容は背景図画７とともに訴求されるので、表記内容を変えなくても、背景となる背景図画７を適宜に交換すれば斬新性を維持することができ、訴求力の向上につながる。これにより訴求力の単調性を防止することができる。

【００１８】

さらに、表面ポップ部３の内部では上記の如く乱反射が繰り返されるから、限られたＬＥＤ１７により数倍の光量を得ることができ、照射効率性が向上する。これにより、コスト低下に寄与する。

【００１９】

本願発明は上記実施の形態に限定されない。例えば表面ポップ部３を構成する透明板は他の素材、例えば、ガラス、ポリプロピレン（ＰＰ）、ポリエチレンテレフタレート（ＰＥＴ）、アクリロニトリルブタジエンスチレン（ＡＢＳ）等の透明樹脂とすることができ、また表面ポップ部３の厚み寸法も乱反射可能な厚さであれば任意である。

【００２０】

ＬＥＤ１７の個数は任意である。個数が多いほど光量が増大するが、周囲の環境及び／又は蛍光マーカの色彩によっては２乃至３個であっても足りる場合がある。

【００２１】

また、表面ポップ部３に貼着される反射テープ１１は上記３辺の外周縁１１ｂ、１１ｃ、１１ｄに加え、光源部９側の１辺３ａの正面及び背面の側縁に一对設けてもよい。

【００２２】

背景図画７の交換は、上部フレーム１３ａ、下部フレーム１３ｂ、右側フレーム１５ａ及び左側フレーム１５ｂにて表面ポップ部３及び背面部５を挟着するようにしておけば、上記いずれかのフレームのみ取り外すことにより表面ポップ部３、背面部５間に挟持された背景図画７を交換することができる。

【００２３】

さらに光源部９内の設計によっては表面ポップ部３の切欠３ｅを要しない。

【産業上の利用可能性】

【００２４】

本願発明は店舗のディスプレイ、パーティの会場等、広告宣伝表示に使用される。

【図面の簡単な説明】

【００２５】

【図１】本願発明によるポップボードの実施の形態を示す正面図である。

【図２】図１の分解正面図である。

【図３】図１の分解平面図である。

10

20

30

40

50

【図 4】(A) は光源部の内部を示す図、(B) は(A) の B - B 断面図である。

【符号の説明】

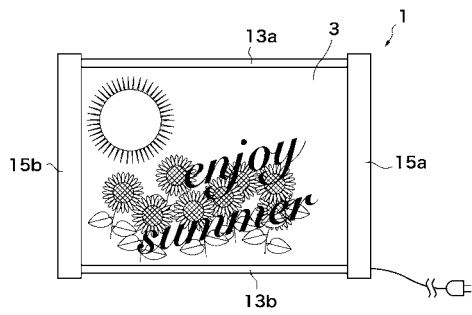
【 0 0 2 6 】

1	ポップボード
3	表面ポップ部
3 a	右側面
3 b	左側面
3 c	上面
3 d	下面
3 e	切欠
5	背面部
7	背景図画
9	光源部
9 a	端子
1 1	反射テープ
1 1 a	反射テープ
1 1 b	反射テープ
1 1 c	反射テープ
1 1 d	反射テープ
1 3 a	上部フレーム
1 3 b	下部フレーム
1 5 a	右側フレーム
1 5 b	左側フレーム
1 7	L E D
1 9	プリント基板
2 1	電気コード

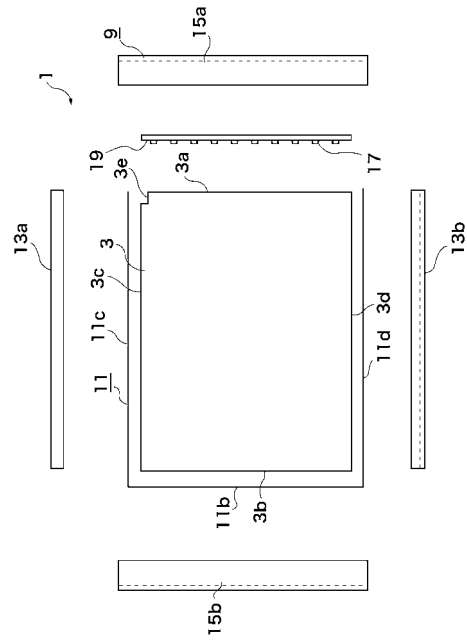
10

20

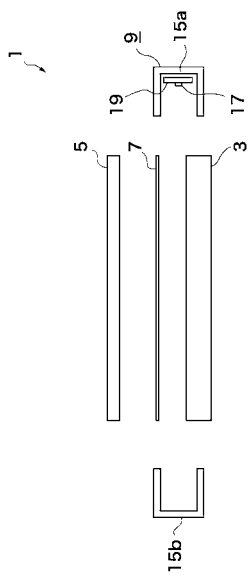
【図 1】



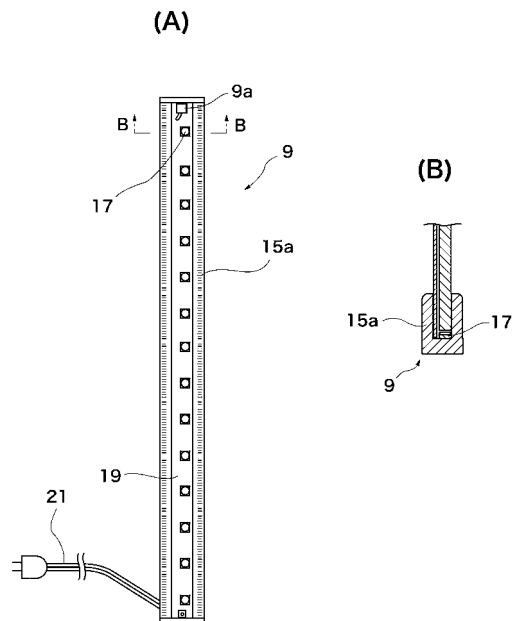
【図 2】



【図 3】



【図 4】



フロントページの続き

F ターム(参考) 5C096 AA11 BA02 BA04 BB12 BC12 CA03 CA33 CB01 CC06 CD02
CE12 EA02 FA02